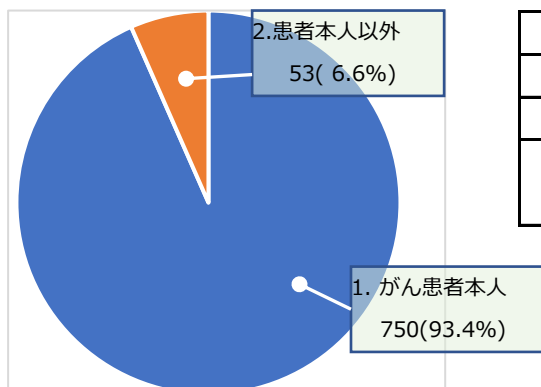


回答者属性

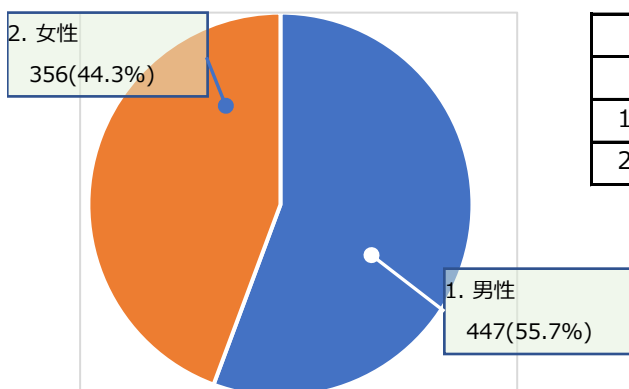
記入者・性別・年代

(質問) 記入者はどなたですか【〇はひとつだけ】



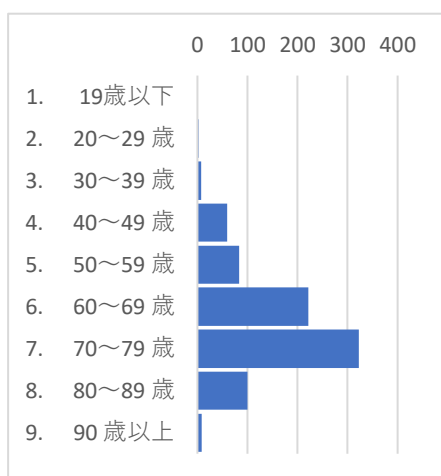
全体	803	
回答	実数	比率
1. がん患者本人	750	93.4%
2. がん患者本人以外 (ご家族や代理の方)	53	6.6%

(質問) 患者さんの性別をお答えください。【〇はひとつだけ】



全体	803	
回答	実数	比率
1. 男性	447	55.7%
2. 女性	356	44.3%

(質問) 患者さんご本人の現在の年齢は、何歳ですか。【〇はひとつだけ】



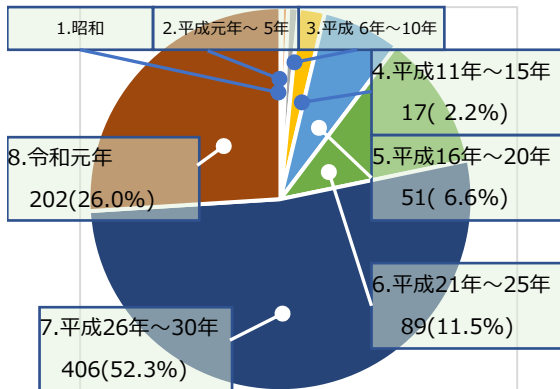
全体	804	
回答	実数	比率
1. 19歳以下	0	0.0%
2. 20～29歳	2	0.2%
3. 30～39歳	7	0.9%
4. 40～49歳	59	7.3%
5. 50～59歳	83	10.3%
6. 60～69歳	222	27.6%
7. 70～79歳	322	40.0%
8. 80～89歳	100	12.4%
9. 90歳以上	9	1.1%

患者さんの現在の年齢70代(約4割)、60代(約3割弱)が多かった。50代以下のミドル世代、AYA世代の患者さんは2割弱であった。

基本情報

診断時期・転院・現在の状況

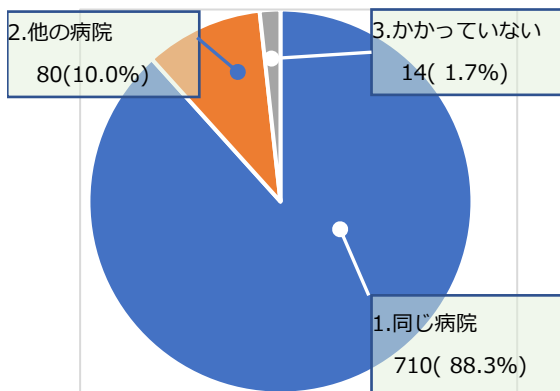
(質問) がんと最初に診断されたのは、いつ頃ですか。



全体	777	
回答	実数	比率
1. 昭和	1	0.1%
2. 平成元年～5年	4	0.5%
3. 平成6年～10年	7	0.9%
4. 平成11年～15年	17	2.2%
5. 平成16年～20年	51	6.6%
6. 平成21年～25年	89	11.5%
7. 平成26年～30年	406	52.3%
8. 令和元年	202	26.0%

(質問) 最初にがんの治療(または経過観察)のためにかかった病院に現在もかかっていますか。

【○はひとつだけ】

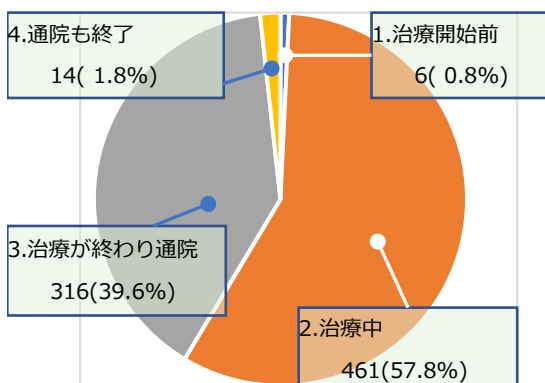


全体	804	
回答	実数	比率
1. 同じ病院にかかっている	710	88.3%
2. 他の病院にかかっている	80	10.0%
3. 現在は病院にかかっていない	14	1.7%

約8割弱の患者さんが平成26年以降のがん罹患患者さんであった。今回の調査が病院での手渡し調査であったため、現時点で通院、診察の必要や機会のあった患者さんへの調査となっている。このことは、回答の多くが、いま、がん治療にあたっている患者さんの声と思われる。

約1割の患者さんが病院を替えているが、約9割弱の患者さんが最初にかかった病院に現在も通院している。

(質問) 現在のがんの治療状況を教えてください。【○はひとつだけ】

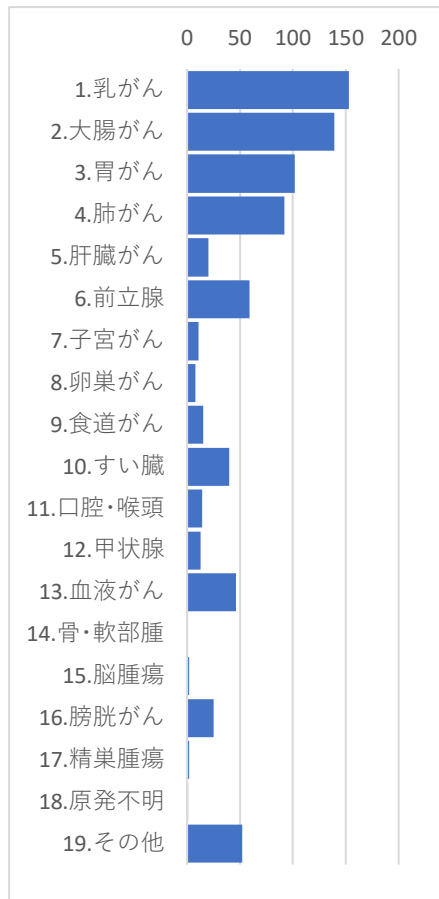


全体	797	
回答	実数	比率
1. 治療開始前	6	0.8%
2. 治療中	461	57.8%
3. 治療が終わり通院	316	39.6%
4. 通院も終了	14	1.8%

基本情報

がんの種類

(質問) 最初に何がんと診断されましたか。【○はひとつだけ】



全体	794	
回答	実数	比率
1. 乳がん	153	19.3%
2. 大腸がん	139	17.5%
3. 胃がん	102	12.8%
4. 肺がん	92	11.6%
5. 肝臓がん	20	2.5%
6. 前立腺がん	59	7.4%
7. 子宮がん	11	1.4%
8. 卵巣がん	8	1.0%
9. 食道がん	15	1.9%
10. すい臓がん	40	5.0%
11. 口腔・咽頭・喉頭がん	14	1.8%
12. 甲状腺がん	13	1.6%
13. 血液がん 悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫	46	5.8%
14. 骨・軟部腫瘍	0	0.0%
15. 脳腫瘍	2	0.3%
16. 膀胱がん	25	3.1%
17. 精巣腫瘍	2	0.3%
18. 原発不明がん	1	0.1%
19. その他	52	6.5%

「19.その他」記載のがん

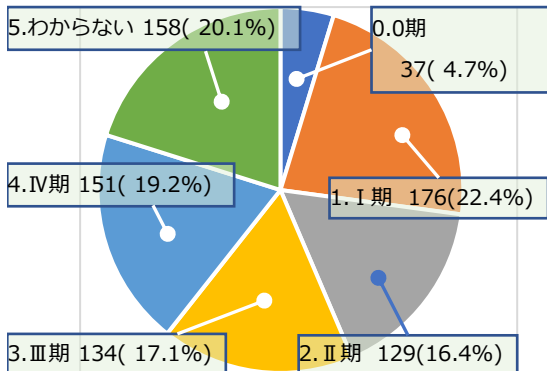
大腿骨・腎臓・腎臓がん・腎がん・腎盂がん・腎盂尿道がん・腎盂尿管癌・尿管ガン・皮膚がん・ボーエンがん（皮膚ガン）・ボーエン病・メラノーマ・悪性黒色腫・黒色腫・盲腸がん・虫垂がん・胆のうがん・胆管がん・十二指腸乳頭部ガン・骨髄異形成症候群・胸腺がん・肺腺がん・だ液腺がん・舌がん・歯肉がん・悪性胞膜中皮腫・褐色細胞腫・縦隔腫瘍・後腹膜平滑筋肉腫・G I S T

いわゆる5大がんと言われるがん種が、このアンケート回答者でも上位を占めており大きな齟齬（そご）は無いと思われる。

基本情報

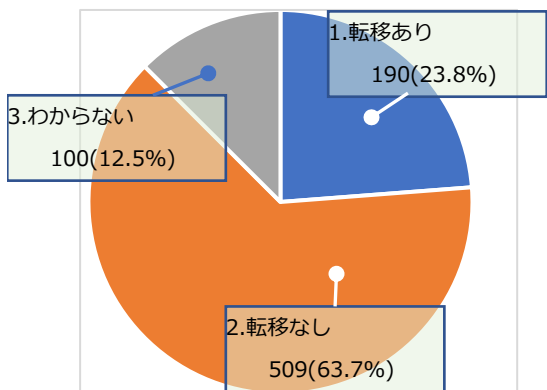
ステージ・転移・再発

(質問) 診断された時のがんの進行度(ステージ)をお答えください。【○はひとつだけ】



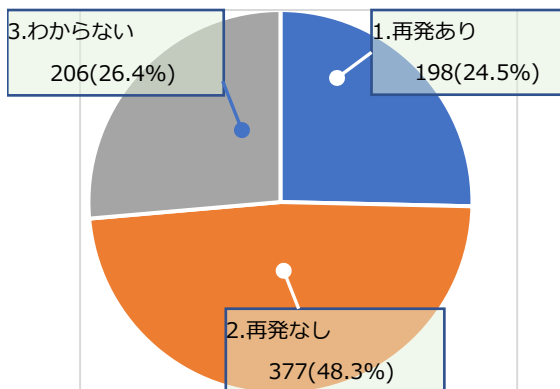
全体	785	
回答	実数	比率
0. 0期	37	4.7%
1. I期	176	22.4%
2. II期	129	16.4%
3. III期	134	17.1%
4. IV期	151	19.2%
5. わからない	158	20.1%

(質問) 診断された時のがんの転移の有無をお答えください。【○はひとつだけ】



全体	799	
回答	実数	比率
1. 転移あり	190	23.8%
2. 転移なし	509	63.7%
3. わからない	100	12.5%

(質問) がんの再発の有無をお答えください。【○はひとつだけ】

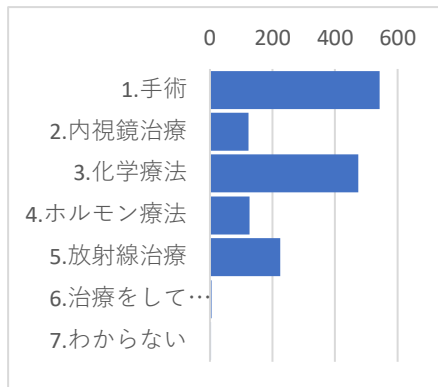


全体	781	
回答	実数	比率
1. 再発あり	198	24.5%
2. 再発なし	377	48.3%
3. わからない	206	26.4%

基本情報

受けた治療

(質問) がんと診断されてからこれまで受けたがん治療を教えてください。【〇はいくつでも】



回答者全数	803	
回答	実数	比率
1. 手術	543	67.6%
2. 内視鏡治療	124	15.4%
3. 化学療法	475	59.2%
4. ホルモン療法	127	15.8%
5. 放射線治療	224	27.9%
6. 治療をしていない	6	0.7%
7. わからない	4	0.5%

がん種毎の受けた治療種類	実数	手術	内視鏡	化学	ホルモン	放射線	なし	不明	複数種類の治療	
									実数	(%)
乳がん	153	135	3	92	79	89	0	0	129	84.3%
大腸がん	139	113	39	83	6	18	3	0	89	64.0%
胃がん	102	70	29	48	2	4	1	0	45	44.1%
肺がん	92	44	13	75	0	28	1	0	52	56.5%
肝臓がん	20	9	4	11	0	4	0	0	8	40.0%
前立腺がん	59	21	2	8	39	26	0	1	31	52.5%
子宮がん	11	11	0	9	0	3	0	0	9	81.8%
卵巣がん	8	6	1	8	1	1	0	0	6	75.0%
食道がん	15	8	1	9	0	8	0	1	9	60.0%
すい臓がん	40	29	4	31	0	8	1	0	23	57.5%
口腔・咽頭・喉頭がん	14	8	1	9	0	10	0	0	11	78.6%
甲状腺がん	13	13	0	0	0	3	0	0	3	23.1%
悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫	46	10	2	40	0	7	0	2	11	23.9%
骨・軟部腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0	---
脳腫瘍	2	2	0	1	0	2	0	0	2	100.0%
膀胱がん	25	17	12	13	0	3	0	0	14	56.0%
精巣腫瘍	2	2	0	2	0	0	0	0	2	100.0%
原発不明がん	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	52	38	7	29	0	7	0	0	21	40.4%

がんと診断されてから受けた治療では、半数以上の患者さんが手術（67.6%）、化学療法(59.0%)を経験されている。また、473人の患者さん（59.0%）の患者さんは複数の治療を組み合わせる治療を行っている。がん種ごとでは乳がん、子宮がんの8割以上の患者さんについては複数種類の治療の組み合わせをされている。